

二期会ゴールデンコンサート
at津田ホール
2013/14 Season

竹本節子 メゾソプラノ

2014年1月18日[土] 開演・16:00 開場・15:30

Vol.43

ヴァイオリン◆荒井英治 ピアノ◆大島義彰



多くの世界的指揮者から絶大な信頼を得ているメゾソプラノ
馥郁たる歌唱に心潤されるひととき

Program

バッハ

『マタイ受難曲』より
「憐れみたまえ、わが神よ」
ヴァイオリン・ソナタ ホ短調

デュパルク

「旅への誘い」
「悲しい歌」

ショーソン

「リラの花咲く頃」
「蝶々」

サン=サーンス

「夕暮れのヴァイオリン」

ラフ

「インマー・バイ・ディア」

ほか



Violin
Mezzosoprano
Piano

会場◆津田ホール JR千駄ヶ谷駅前都営地下鉄大江戸線国立競技場駅A4出口前 主催◆二期会21 津田ホール 制作◆株式会社二期会21

料金(税込) 1回券4,000円 2回セット券7,000円 2013/14シーズン全4公演から2つお選びください 二期会オペラ愛好会割引あり

全指定席 学生券2,500円 各回10枚限定 車椅子席2,500円 同伴者1名まで同額 1回券以外は二期会チケットセンターのみ販売

チケット販売・お問合せ◆二期会チケットセンター03-3796-1831平日10:00-18:00 土10:00-15:00 日祝・休 津田ホールチケットセンター03-5355-1299平日10:00-18:00 土日祝・休

多くの世界的指揮者から絶大な信頼を得ているメゾソプラノ 馥郁たる歌唱に心潤されるひととき

二期会の代表アーティストによる「二期会ゴールデンコンサートat津田ホール」シリーズに、メゾソプラノ竹本節子が登場します! メゾソプラノは、ふくよかな響きと、高音から低音まで広がる豊かな声の色彩が魅力。精確なテクニックと作品への深い愛情をもってその魅力を伝える竹本は、これまで多くの著名指揮者やオーケストラと共演を重ね、幅広いレパートリーとともに共演者からの絶大な信頼を積み重ねてきました。今回は、ピアノに指揮者の大島義彰、ヴァイオリンに東京フィルハーモニー交響楽団のソロ・コンサートマスター荒井英治を迎え、トリオでオーケストラの響きを奏でます。バッハ《マタイ受難曲》のアリア(憐れみたまえ、わが神よ)から、ショーソン、デュパルクの名曲に加え、サン＝サーンスやヨアヒム・ラフの、国内ではほとんど演奏されたことのない作品での、貴重なヴァイオリンと声楽との協演も。響きの深みに音楽への愛情がみなみと注がれた竹本の歌を、どうぞご堪能ください。

美しい歌を 美しいままに 贈ります

二期会を代表する
4人のアーティストによる
シリーズリサイタル

竹本節子 メゾソプラノ Setsuko Takemoto, Mezzosoprano

深く豊麗な美声と高い音楽性で絶大な信頼を得ている

オペラではこれまでに『カルメン』タイトルロール、二期会『シンデレラ』タイトルロール、『ファルスタッフ』タイクリー夫人、『ラインの黄金』エルダ等を好演し、各方面より絶賛されている。大阪フィル『サムソンとデリラ』ではデリラ役の大役を果たす。新国立劇場では、『アラベッラ』アデライデ役をはじめ、『フィガロの結婚』『さまよえるオランダ人』『神々の黄昏』『アンドレア・シェニエ』等において、優れた歌唱と確かな演技で強烈な印象を残した。コンサートでは、東京都交響楽団をはじめ、国内の主要オーケストラのソリストとしても活躍、ガリー・ベルティーニ、ジェイムズ・デブリスト、レイフ・セーゲルスタム、ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー等、多くの著名な指揮者から確かな実力を認められている。バッハ「マタイ受難曲」、マーラー「大地の歌」「復活」「交響曲第3番」、ヴェルディ「レクイエム」、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」、シェーンベルク「グレの歌」等でとりわけ高い評価を得ている。殊にマーラー「交響曲第2番「復活」」では美声を活かした繊細な演奏で深い感動を与えている。大阪音楽大学客員教授。二期会会員



ヴァイオリン◆荒井英治 Eiji Arai, Violin

桐朋学園大学に学ぶ。鈴木共子、江藤俊哉の各氏に師事。ジャンス・イスナール、ガブリエル・ブイヨンにもレッスンを受ける。79年から新星日本交響楽団、80年から東京交響楽団、そして89年からは東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを歴任し、現在は東京フィルハーモニー交響楽団のソロ・コンサートマスター。92年、モルゴア・クアルテット結成に参画。ショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲全15曲に取り組み注目を浴びる。その後も古典派と現代曲を組み合わせた独自のアプローチを展開、日本を代表する弦楽四重奏団としての地位を得る。98年、第10回「村松賞」、2010年度「アリオ賞」を受賞。2012年にはプログレッシヴ・ロックへのオマージュである【21世紀の精神正常者たち】をリリースして話題となる。独奏者としても、J. S. バッハからショスタコーヴィチ、リゲティに至る数多くの協奏曲を秋山和慶、大野和士、ルドルフ・バルシャイ、ヤーノシュ・コヴァーチュ、井上道義等と協演する。また、V. フェドセーエフに招かれ、モスクワにてモスクワ放送交響楽団と共演している。東京音楽大学教授



ピアノ◆大島義彰 Yoshiaki Oshima, Piano

東京藝術大学指揮科卒業。同大学院修了。その後フランス政府給費留学生として渡仏、パリ国立高等音楽院に学ぶ。平成8年度文化庁芸術インターンシップ研修員として奨学金を受ける。フランス外務省助成による、モノオペラ「人間の声」(F・ブランク作曲)をマニラ、ジャカルタ、香港、日本各地にて演奏。オペラ「エトワール」、「教育不行き届き」(E・シャプリエ作曲)、「シブレット」(R・アーン作曲)を指揮する等(すべて日本初演)、フランス音楽のスペシャリストとして特に高い評価を受けている。東京二期会オペラ劇場と長期に渡り専属契約を結び、多くの本公演に際しコレペティット、副指揮者、合唱指揮者として参加し公演の成功に貢献、極めて厚い信頼を歌手たちより受けている。2006年7月びわ湖ホールでの「ミニヨン」50年振り日本上演を指揮。2008年10月の藤沢市民オペラ「メリー・ウイダー」を指揮。現在東京藝術大学講師として後進の指導にあたる他、フリーの指揮者として各オーケストラに客演。ピアノ伴奏者としても多彩な活動を繰り返している。



Program

デュパルク(1848-1933)

Henri Duparc

「旅への誘い」

「l'invitation au voyage」

「悲しい歌」

「chanson triste」

ショーソン(1855-1899)

Ernest Chausson

「リラの花咲く頃」

「le temps des Lilas」

「蝶々」

「Le papillons」

サン＝サーンス(1835-1921)

Camille Saint-Saëns

「夕暮れのヴァイオリン」

「Violons dans le soir」

ラフ(1893-1987)

Joachim Raff

「インマー・バイ・ディア」

「immer bei dir」

バッハ(1685-1750)

Johann Sebastian Bach

『マタイ受難曲』より

「Matthäuspassion」

「憐れみたまえ、わが神よ」

「Erbarme dich, mein Gott」

「ヴァイオリン・ソナタ ホ短調」

「Violin Sonatas e-moll. BWV 1023」

ほか

二期会ゴールデンコンサート2013/14 シーズン

Vol.41 ◆ 2013年9月28日[土]16時開演

鷗木絵里 ソプラノ

スペインの風景とシェイクスピアに魅せられた
華あるソプラノの新境地

第1部 スペイン歌曲集 / 第2部 恋におちたシェイクスピア
モンボウ「夢の戦い」/レオス「歌の三部作」/トマ「ミニヨン」より ほか
ピアノ◆多田聡子

Vol.42 ◆ 2013年11月30日[土]16時開演

井ノ上了吏 テノール

ラテンの情熱溢れるテノール・リリコ

“我が歌! イタリア、スペインへの想い”
第1部 イタリアの歌曲、オペラアリア / 第2部 スペイン歌曲、サルセラ
トステイ「理想」/チマラー「海のストルネロ」/トゥリーナ「歌のかたちの詩」ほか
ピアノ◆高木由雅

Vol.44 ◆ 2014年3月21日[金・祝]16時開演

小森輝彦 バリトン

日本人として初めて
ドイツ“宮廷歌手”の称号を得たバリトン
ノブルな響きで導かれる音楽の真髄
第1部 R.シュトラウス歌曲集 / 第2部 オペラ・アリア
ピアノ◆服部容子